

※受理年月日	27年 12月26日
※受理番号	27-023
※備考	

大規模小売店舗届出書

令和7年12月26日

沖縄県知事 殿

株式会社ドラッグストアモリ
代表取締役 森 竜馬
福岡県朝倉市一木1148番地の1

大規模小売店舗立地法第5条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

名 称 (仮称) ドラッグストアモリ石垣大浜店
所在地 沖縄県石垣市字大浜南大浜418番6 外

2 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

小 売 業 者		住 所
氏 名 (名 称)	代表者 (法人の場合)	
株式会社ドラッグストアモリ	代表取締役 森 竜馬	福岡県朝倉市一木1148番地の1

3 大規模小売店舗の新設をする日

令和8年8月27日

4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計

1,480㎡



5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

(1) 駐車場の位置及び収容台数

符号	駐車場の種類	収容台数	1台当たりの区画の面積 (㎡)	位 置
		(うち、軽自動車専用台数)	(うち、軽自動車専用区画)	
—	建物外平面駐車場 (自走式)	60台	5.0m×3.5m=17.5㎡ 5.0m×2.5m=12.5㎡ 4.0m×2.5m=10.0㎡	建物敷地内 〔資料—3 平面図兼配置図上 (p.22) 〕
		(4台)	—	

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

符号	収容台数	備 考 (原動機付自転車等が駐輪した場合の収容台数)	位 置
—	10台	7台	建物北側 〔資料—3 平面図兼配置図 (p.22) 〕

※駐輪スペース 0.6m×2.0m、原動機付自転車等駐輪スペース 0.8m×2.0m

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

符号	面 積	(うち、搬出入車輛駐車 スペース面積)	(搬出入車輛の駐車可能 台数)	位 置
—	48㎡	48㎡	1台	建物西側 〔資料—3 平面図兼配置図上 (p.22) 〕

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

符号	容 量	施設面積×高さ (㎡× m)	位 置
—	9.12m³	6.08㎡×1.5m=9.12m³	建物敷地西側 〔資料—3 平面図兼配置図上 (p.22) 〕

6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻 24時間営業

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯 24時間

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

符号	駐車場No.	出入口の数			位 置
		入口	出口	出入口	
—	建物外平面駐車場 (自走式)	0	0	2	建物敷地北側 〔資料—3 平面図兼配置図上 (p.22) 〕

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯 24時間

添 付 書 類

1 法人にあっては、その登記事項証明書、個人にあってはその住民票の写し

別添のとおり

2 主として販売する物品の種類

図面No.	小売業者の氏名又は 名称及び代表者の氏名	小売業者（小売業者 以外の者）の所在地	主として販売する 物品の種類	開店 時刻	閉店 時刻
資料－3	株式会社ドラッグストアモリ 代表取締役 森 竜馬	福岡県朝倉市一木 1148番地の1	住・生活関連用品 医薬化粧品、食料品等	0時	24時

※小売店舗と利用者が概ね一致すると想定される小売業以外の施設
該当なし

※小売店舗と利用者が異なる小売業以外の施設
該当なし

3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

(1) 建物の位置を示す図面

- ・別添「資料－1 建物位置図（広域図）（p.20）」参照
- ・別添「資料－2 周辺見取図（p.21）」参照
- ・別添「資料－3 平面図兼配置図（p.22）」参照
- ・別添「資料－4. 1 周辺道路状況図（1）（p.23）」参照
- ・別添「資料－4. 2 周辺道路状況図（2）（p.24）」参照
- ・別添「資料－5 案内経路図（p.25）」参照
- ・別添「資料－6. 1 動線計画図（1）（p.26）」参照
- ・別添「資料－6. 2 動線計画図（2）（p.27）」参照

(2) 小売業の配置を示す図面

- ・別添「資料－3 平面図兼配置図（p.22）」参照

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

(1) 駐車場

《指針の計算式による場合》

事 項	数 値	算出根拠等
S：店舗面積	1,480千㎡	
地区の区分	その他地区	(理由；第一種住居地域、近隣商業地域)
S'：小売業以外の複合施設面積の合計	0㎡	$S' < S \times 0.2$
A：店舗面積当たり日來店客数原単位	1,055.60人／千㎡	人口40万人未満・1,100－30S (S<5)
B：ピーク率	14.4%	経済産業省指針数値
L：駅（パスターミナル）からの距離	－ m	－
C：自動車分担率	80%	人口10万人未満
D：平均乗車人員（小数点第3位四捨五入）	2.0人／台	10千㎡未満
E：平均駐車時間係数（小数点第3位四捨五入）	0.64	10千㎡未満・ $(30+5.5S) / 60$

○小売店舗へのピーク1時間当たりの自動車来台数（90台）

$$A \times S \times B \times C \div D = 1,055.60 \text{人} / \text{千㎡} \times 1,480 \text{千㎡} \times 14.4\% \times 80\% \div 2.0 \text{人} / \text{台} \\ = 90 \text{台（端数切り上げ）}$$

○必要駐車場台数（58台）

$$90 \text{台} \times E (0.64) = 58 \text{台（端数切り上げ）}$$

当該大規模小売店舗駐車場設置台数 63台 $\geq$ 必要駐車場台数 58台

(内訳) ↓

小売業に係る駐車場設置台数	60台
小売業以外に係る駐車場設置台数	3台

符号	名 称	業態	必要駐車場台数 (台)	当該小売店舗駐車場 との共用台数	算出根拠等
－	従業員用駐車場	－	3台	0台	ピーク時における自動車通勤予定従業員数より
－	併設施設用駐車場	－	0台	0台	
合 計			3台	0台	

(その他記載する事項)

駐車場の分散確保の有無	理 由
無	建物敷地内において指針で求める必要駐車台数を確保しており、計画している駐車場形式及び駐車場出入口の数や位置について、周辺道路の交通に与える影響が少ないと考えられるため。

《指針の計算式によらない場合》

該当なし

(2) 駐輪場について <指針参考値に基づく算出>

符号	駐輪場の収容台数(台)	算 出 根 拠	備 考
—	10台	必要駐輪台数=店舗面積÷35㎡ $=1,480\text{㎡} \div 35\text{㎡} = 42\text{台}$ ※上記計算式は、自転車を利用する来客の割合が高いと考えられる商業地区における食品スーパー及び総合スーパーにおける現状の整備台数から試算した場合の参考値となる。 よって、下記のとおりパーソントリップに基づき必要駐輪台数を算出する。	自動二輪車駐車場0台 原動機付自転車共用7台

<パーソントリップに基づく算出>

事 項		備 考													
ア) ピーク時自動車来店台数	90台	大店立地法指針の算定式より													
イ) 来店自動車台数に対する自転車の割合	16.8%	「令和3年度全国都市交通特性調査集計結果」から石垣市が該当する地方都市圏における私用目的（買物）分担率より、平日の値を用いると、 <table><tr><td></td><td>自動車(a)</td><td>自転車(b)</td><td>(a)に対する(b)の割合</td></tr><tr><td>平日</td><td>66.1%</td><td>11.1%</td><td>16.8%</td></tr><tr><td>休日</td><td>80.0%</td><td>6.1%</td><td>7.6%</td></tr></table>			自動車(a)	自転車(b)	(a)に対する(b)の割合	平日	66.1%	11.1%	16.8%	休日	80.0%	6.1%	7.6%
	自動車(a)	自転車(b)	(a)に対する(b)の割合												
平日	66.1%	11.1%	16.8%												
休日	80.0%	6.1%	7.6%												
ウ) 平均駐輪時間係数	0.64	大店立地法指針の算定式より													
必要駐輪台数	10台	ア×イ×ウ（端数処理：切り上げ）													

■必要自動二輪車駐車台数

<パーソントリップに基づく>

項 目	予測数値	予測数値の根拠等												
ア) ピーク時自動車来店台数	90台	大店立地法指針の算定式より												
イ) 自動二輪車分担率	2.6%	「令和3年度全国都市交通特性調査集計結果」から石垣市が該当する地方都市圏における私用目的(買物)分担率より、平日の値を用いると、 <table><tr><td></td><td>自動車(a)</td><td>二輪車(b)</td><td>(a)に対する(b)の割合</td></tr><tr><td>平日</td><td>66.1%</td><td>1.7%</td><td>2.6%</td></tr><tr><td>休日</td><td>80.0%</td><td>0.8%</td><td>1.0%</td></tr></table>		自動車(a)	二輪車(b)	(a)に対する(b)の割合	平日	66.1%	1.7%	2.6%	休日	80.0%	0.8%	1.0%
	自動車(a)	二輪車(b)	(a)に対する(b)の割合											
平日	66.1%	1.7%	2.6%											
休日	80.0%	0.8%	1.0%											
ウ) 平均駐車時間係数	0.64	大店立地法指針の算定式より												
必要自動二輪車駐車台数	2台	① ア×イ×ウ(端数処理:切り上げ)												

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

①周辺見取図の作成

(1) 来客自動車の案内経路及び帰路

- ・別添「資料－5 案内経路図 (p. 25)」参照
- ・別添「資料－6. 1 動線計画図 (1) (p. 26)」参照
- ・別添「資料－6. 2 動線計画図 (2) (p. 27)」参照

(2) 経路案内板、駐車場の空き状況を示す表示板等の設置場所

- ・別添「資料－6. 1 動線計画図 (1) (p. 26)」参照

(3) 車線数、交通量調査を行った交差点等の位置

- ・別添「資料－4. 1 周辺道路状況図 (1) (p. 23)」参照
- ・別添「資料－5 案内経路図 (p. 25)」参照

(4) 信号機、横断歩道等、交通規制（一方通行等）、駐車場出入口に接する道路の歩道等の有無

- ・別添「資料－4. 1 周辺道路状況図 (1) (p. 23)」参照

(5) 学校等との位置及び通学路

- ・別添「資料－4. 2 周辺道路状況図 (2) (p. 24)」参照

(6) バス停留所

- ・別添「資料－4. 2 周辺道路状況図 (2) (p. 24)」参照

(7) 路上駐車

- ・計画地周辺道路において、路上駐車等は見受けられない。

(8) 搬出入車輛の経路

- ・別添「資料－6. 1 動線計画図 (1) (p. 26)」参照
- ・別添「資料－6. 2 動線計画図 (2) (p. 27)」参照

(9) 経路上にある他の大規模小売店舗や大規模な集客施設等

- ・計画地の西側にはニトリ石垣店及び八重山ファッションモール、北側にはドン・キホーテ石垣島店が立地する。

②各案内経路別来台数割合の予測結果及び算出根拠

- ・別添「資料－5 案内経路図 (p. 25)」参照
- ・別冊資料「(仮称) ドラッグストアモリ石垣大浜店 交通処理計画報告書」参照

③交通量調査結果の添付

- ・別冊資料「(仮称) ドラッグストアモリ石垣大浜店 交通処理計画報告書」参照

④交差点交通量の予測結果について

- ・別冊資料「(仮称) ドラッグストアモリ石垣大浜店 交通処理計画報告書」参照

⑤出入口の形式について

- ・自走式平面駐車場で発券ブース等の設置なし（駐車待ちスペース必要なし）

6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

- ・周辺見取図に来客の自動車の案内経路を表示した図面
別添「資料-5 案内経路図 (p. 25)」参照
- ・経路等を来店者に知らせる方法

項 目	具 体 的 な 内 容
案内表示の設置 (看板等)	・建物敷地北側には広告塔、各出入口には案内表示看板を設置する。 別添「別添「資料-6. 1 動線計画図 (1) (p. 26)」参照
ちらし等の配付	・オープン時や繁忙時など多くの来店車両が見込まれる際には、新聞折り込みチラシに案内経路図を掲載することで、事前に情報提供を行う。
交通整理員の配置	配置場所：別添「資料-6. 1 動線計画図 (1) (p. 26)」に示す場所以外に来客の誘導あるいは交通安全上重要な地点に配置する。 人 数：2名程度（オープン時や繁忙時のみ、状況に応じて適宜増員する） 配置日時：午前8時30分～午後8時00分
そ の 他	・オープン時対策として、地元警察署と協議を行い、来店車両の誘導及び歩行者の安全対策に努めていく。 ・オープンに伴って来店車両により周辺道路の交通流に変化が生じ、周辺地域の生活道路に渋滞等の影響が生じた場合には、関係機関と協議を行い、必要な対策を講じていく。

7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

荷さばき施設			
時間帯	車両の大きさ	車両台数 (台)	平均的な処理時間 (分)
6時台	9 t 車	1台	20分
7時台		0台	0分
8時台		0台	0分
9時台		1台	20分
10時台		0台	0分
11時台	4 t 車	0台	0分
12時台		0台	0分
13時台		0台	0分
14時台		0台	0分
15時台		0台	0分
16時台		0台	0分
17時台		0台	0分
18時台		0台	0分
19時台		0台	0分
20時台		1台	20分
21時台	4 t 車	0台	0分
22時台		0台	0分
23時台		0台	0分
0時台		0台	0分
1時台		0台	0分
2時台		0台	0分
3時台		0台	0分
4時台		0台	0分
5時台		1台	20分
合 計		4台	

8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

遮音壁の有無	遮音壁の高さ	遮音壁の厚さ	材質・構造	遮音壁の位置
有	1.8m	1mm	鉄板	資料-7

9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

No.	項 目		設置の有無	稼働時間帯	位 置	
	種 類	形 式				
1	室外機1	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
2	室外機2	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
3	室外機3	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
4	室外機4	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
5	室外機5	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
6	室外機6	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
7	室外機7	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
8	室外機8	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
9	室外機9	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
10	室外機10	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
11	室外機11	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
12	室外機12	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
13	室外機13	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
14	室外機14	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
15	室外機15	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
16	室外機16	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
17	室外機17	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
18	室外機18	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.5m)	資料-7
19	室外機19	R40XEP	有	終 日	1 階部(-0.2m)	資料-7
20	室外機20	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.0m)	資料-7
21	室外機21	RZZP140BD	有	終 日	1 階部(0.0m)	資料-7
22	冷凍冷蔵庫屋外機1	ECOV-D55WA1	有	終 日	1 階部(0.8m)	資料-7
23	冷凍冷蔵庫屋外機2	ECOV-D45WA1	有	終 日	1 階部(0.8m)	資料-7
24	冷凍冷蔵庫屋外機3	ECOV-D98MA1	有	終 日	1 階部(2.0m)	資料-7
25	冷凍冷蔵庫屋外機4	ECOV-D75MA1	有	終 日	1 階部(2.0m)	資料-7
26	冷凍冷蔵庫屋外機5	ECOV-D37WA	有	終 日	1 階部(0.3m)	資料-7
27	冷凍冷蔵庫屋外機6	ECOV-D22WA	有	終 日	1 階部(0.3m)	資料-7
28	排気口1	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
29	排気口2	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
30	排気口3	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
31	排気口4	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
32	排気口5	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
33	排気口6	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
34	排気口7	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
35	排気口8	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
36	排気口9	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
37	排気口10	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
38	排気口11	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
39	排気口12	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
40	排気口13	VD-25ZVX6-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
41	排気口14	VD-25ZX13-FP	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7
42	排気口15	EFG-30SB2	有	終 日	1 階部(4.0m)	資料-7

No.	項 目		設置の 有 無	稼働時間帯	位 置	
	種 類	形 式				
43	排気口16	EFG-30SB2	有	終 日	1階部(4.0m)	資料-7
44	キュービクル	キュービクルa	有	終 日	1階部(1.5m)	資料-7

・別添「資料-7 騒音発生源位置図 (p.28)」参照

○等価騒音レベルの予測地点

予測地点	位 置	用 途 地 域	予 測 位 置(m)		
			X	Y	Z
A地点	建物敷地北側集合住宅敷地内	近隣商業地域	-50.0	12.9	4.5
B地点	建物敷地東側住居敷地内	第2種住居地域	22.9	98.6	1.5
C地点	建物敷地南側住居敷地内	第2種住居地域	57.8	53.3	1.5
D地点	建物敷地北側住居敷地内	近隣商業地域	-19.2	-4.6	1.5
【選定根拠】 A地点: 駐車場出入口付近を走行する自動車走行音の影響を最も受けると思われる集合住宅敷地内とした(4階建て2階部)。 B地点: 建物東側に設置される設備機器の稼働音の影響を最も受けると思われる住居敷地内とした(1階建て1階部)。 C地点: 建物東側及び南側に設置される設備機器の稼働音の影響を最も受けると思われる住居敷地内とした(1階建て1階部)。 D地点: 駐車場内を走行する自動車走行音、荷さばき施設及び廃棄物等保管施設から発生する作業音の影響を最も受けると思われる住居敷地内とした(2階建て1階部)。					

○騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測地点

夜間に騒音を発生する発生源ごとに最も近い計画地敷地境界上とする。

・別添「資料-8 騒音予測地点位置図 (p.29)」参照

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

地点	地域の類型	環境基準値		予 測 値			評 価
				一般住居等		高層住居等	
				遮音壁無	遮音壁有		
A地点	C類型	昼 間	60	—	—	42.9	適 合
		夜 間	50	—	—	39.8	適 合
B地点	B類型	昼 間	55	38.7	—	—	適 合
		夜 間	45	37.0	—	—	適 合
C地点	B類型	昼 間	55	45.5	—	—	適 合
		夜 間	45	45.0	—	—	適 合
D地点	C類型	昼 間	60	49.7	—	—	適 合
		夜 間	50	45.6	—	—	適 合

※指針に示された予測式等に基づく計算過程は、別冊「(仮称) ドラッグストアモリ石垣大浜店 騒音予測評価報告書」に示す。

11 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

	騒音発生源	地域の類型	夜間の 規制基準値	予 測 値		評 価
				遮音壁無	遮音壁有	
定	1 室外機1	第2種	40	46	—	不適合
	2 室外機2	第2種	40	45	—	不適合
	3 室外機3	第2種	40	44	—	不適合
	4 室外機4	第2種	40	43	—	不適合
	5 室外機5	第2種	40	42	—	不適合
	6 室外機6	第2種	40	41	—	不適合
	7 室外機7	第2種	40	41	—	不適合
	8 室外機8	第2種	40	40	—	適合
	9 室外機9	第2種	40	40	—	適合
	10 室外機10	第2種	40	39	—	適合
	11 室外機11	第2種	40	39	—	適合
	12 室外機12	第2種	40	38	—	適合
	13 室外機13	第2種	40	38	—	適合
	14 室外機14	第2種	40	37	—	適合
	15 室外機15	第2種	40	37	—	適合
	16 室外機16	第2種	40	36	—	適合
	17 室外機17	第2種	40	36	—	適合
	18 室外機18	第2種	40	36	—	適合
	19 室外機19	第2種	40	47	—	不適合
	20 室外機20	第2種	40	50	—	不適合
	21 室外機21	第2種	40	49	—	不適合
騒音	22 冷凍冷蔵庫屋外機1	第2種	40	40	—	適合
	23 冷凍冷蔵庫屋外機2	第2種	40	39	—	適合
	24 冷凍冷蔵庫屋外機3	第2種	40	44	—	不適合
	25 冷凍冷蔵庫屋外機4	第2種	40	45	—	不適合
	26 冷凍冷蔵庫屋外機5	第2種	40	53	—	不適合
	27 冷凍冷蔵庫屋外機6	第2種	40	46	—	不適合
	28 排気口1	第2種	40	26	—	適合
	29 排気口2	第2種	40	25	—	適合
	30 排気口3	第2種	40	24	—	適合
	31 排気口4	第2種	40	24	—	適合
	32 排気口5	第2種	40	26	—	適合
	33 排気口6	第2種	40	28	—	適合
	34 排気口7	第2種	40	31	—	適合
	35 排気口8	第2種	40	41	—	不適合
	36 排気口9	第2種	40	41	—	不適合
	37 排気口10	第2種	40	40	—	適合
	38 排気口11	第2種	40	40	—	適合
	39 排気口12	第2種	40	41	—	不適合
	40 排気口13	第2種	40	40	—	適合
	41 排気口14	第2種	40	40	—	適合
	42 排気口15	第2種	40	28	—	適合
	43 排気口16	第2種	40	28	—	適合
	44 キュービクル	第2種	40	42	—	不適合

騒音発生源		地域の類型	夜間の 規制基準値	予 測 値		評 価
				遮音壁無	遮音壁有	
変 動 騒 音	※ 来客車両走行音1-1	第3種	50	69	—	不適合
	※ 来客車両走行音1-2	第3種	50	61	—	不適合
	※ 来客車両走行音1-3	第3種	50	56	—	不適合
	※ 来客車両走行音2-1	第3種	50	55	—	不適合
	※ 来客車両走行音2-2	第3種	50	55	—	不適合
	※ 来客車両走行音2-3	第3種	50	—	41	適 合
	※ 来客車両走行音3-1	第3種	50	—	45	適 合
	※ 来客車両走行音3-2	第3種	50	—	46	適 合
	※ 来客車両走行音3-3	第3種	50	—	40	適 合
	※ 来客車両走行音4-1	第3種	50	—	39	適 合
	※ 来客車両走行音4-2	第3種	50	—	40	適 合
	※ 来客車両走行音4-3	第3種	50	—	41	適 合
	※ 来客車両走行音5-1	第2種	40	56	—	不適合
	※ 来客車両走行音5-2	第2種	40	56	—	不適合
	※ 来客車両走行音5-3	第2種	40	57	—	不適合
	※ 来客車両走行音6-1	第3種	50	—	38	適 合
	※ 来客車両走行音6-2	第3種	50	—	36	適 合
	※ 来客車両走行音6-3	第3種	50	—	34	適 合
	※ 来客車両走行音7-1	第2種	40	—	26	適 合
	※ 来客車両走行音7-2	第3種	50	50	—	適 合
	※ 来客車両走行音7-3	第3種	50	55	—	不適合
	※ 来客車両走行音8-1	第3種	50	60	—	不適合
	※ 来客車両走行音8-2	第3種	50	60	—	不適合
	※ 来客車両走行音8-3	第3種	50	60	—	不適合
	※ 来客車両走行音9-1	第3種	50	60	—	不適合
	※ 来客車両走行音9-2	第3種	50	61	—	不適合
	※ 来客車両走行音9-3	第3種	50	69	—	不適合
	※ 来客車両走行音10-1	第3種	50	55	—	不適合
	※ 来客車両走行音10-2	第3種	50	55	—	不適合
	※ 来客車両走行音10-3	第3種	50	56	—	不適合
	※ 従業員車両走行音1-1	第3種	50	69	—	不適合
	※ 従業員車両走行音1-2	第3種	50	61	—	不適合
	※ 従業員車両走行音1-3	第3種	50	56	—	不適合
	※ 従業員車両走行音2-1	第3種	50	55	—	不適合
	※ 従業員車両走行音2-2	第3種	50	55	—	不適合
	※ 従業員車両走行音2-3	第3種	50	—	41	適 合
	※ 従業員車両走行音3-1	第3種	50	—	45	適 合
	※ 従業員車両走行音3-2	第3種	50	—	46	適 合
	※ 従業員車両走行音3-3	第3種	50	—	40	適 合
	※ 従業員車両走行音4-1	第3種	50	—	39	適 合
	※ 従業員車両走行音4-2	第3種	50	—	40	適 合
	※ 従業員車両走行音4-3	第3種	50	—	41	適 合
	※ 従業員車両走行音5-1	第2種	40	56	—	不適合
	※ 従業員車両走行音5-2	第2種	40	56	—	不適合
	※ 従業員車両走行音5-3	第2種	40	57	—	不適合
	※ 搬出入車両走行音1-1	第3種	50	70	—	不適合
	※ 搬出入車両走行音1-2	第3種	50	62	—	不適合
	※ 搬出入車両走行音1-3	第3種	50	57	—	不適合

騒音発生源			地域の類型	夜間の 規制基準値	予 測 値		評 価
					遮音壁無	遮音壁有	
変 動 騒 音	※	搬出入車両走行音2-1	第3種	50	56	—	不適合
	※	搬出入車両走行音2-2	第3種	50	56	—	不適合
	※	搬出入車両走行音2-3	第3種	50	—	42	適合
	※	搬出入車両走行音3-1	第3種	50	—	46	適合
	※	搬出入車両走行音3-2	第3種	50	—	47	適合
	※	搬出入車両走行音3-3	第3種	50	—	42	適合
	※	搬出入車両走行音4-1	第3種	50	—	40	適合
	※	搬出入車両走行音4-2	第3種	50	—	41	適合
	※	搬出入車両走行音4-3	第3種	50	—	42	適合
	※	搬出入車両走行音5-1	第3種	50	—	39	適合
	※	搬出入車両走行音5-2	第2種	40	52	—	不適合
	※	搬出入車両走行音5-3	第2種	40	53	—	不適合
	51	台車走行音	第2種	40	56	—	不適合
衝 撃 騒 音	53	荷下ろし音	第2種	40	56	—	不適合
	55	搬出入車両荷台扉開	第2種	40	57	—	不適合
	57	搬出入車両荷台扉閉	第2種	40	59	—	不適合
	59	搬出入車両座席扉開	第2種	40	59	—	不適合
	61	搬出入車両エンジン	第2種	40	59	—	不適合

※指針に示された予測式等に基づく計算過程は、別冊「(仮称)ドラッグストアモリ石垣大浜店 騒音予測評価報告書」に示す。

予測の結果、基準値を上回ることが予測された。

<騒音対策の検討>

来客車両走行音の影響を抑制すべく、駐車場内には徐行運転(10km/h以下)やアイドリング禁止を励行する旨の看板を設置し、来店客に注意を喚起するとともに、従業員には、建物敷地南西側の従業員駐車場を夜間、利用しないよう指導するなど、周辺住居等への騒音の影響を抑制する。

また、建物敷地北側には国道390号が面しており、周辺住居等への直接的な影響は小さいものと考えられる。

開店後、苦情等が発生した際には、発生源対策を含め誠意を持って対応してまいります。

大規模小売店舗の敷地の境界線上における騒音レベル最大値の予測結果(対策後)

騒 音 発 生 源			基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
番号	機 器 名 称	高さ						
※	来客車両走行音1-1	0.6	67.8	1.8	5.1	—	63	50
※	来客車両走行音1-2	0.6	67.8	4.7	13.4	—	54	
※	来客車両走行音1-3	0.6	67.8	7.8	17.8	—	50	
※	来客車両走行音2-1	0.6	67.8	9.4	19.5	—	48	
※	来客車両走行音2-2	0.6	67.8	9.4	19.5	—	48	
※	来客車両走行音5-1	0.6	67.8	8.2	18.3	—	50	40
※	来客車両走行音5-2	0.6	67.8	7.6	17.6	—	50	
※	来客車両走行音5-3	0.6	67.8	6.9	16.8	—	51	
※	来客車両走行音7-3	0.6	67.8	9.0	19.1	—	49	50
※	来客車両走行音8-1	0.6	67.8	5.3	14.5	—	53	
※	来客車両走行音8-2	0.6	67.8	5.1	14.2	—	54	
※	来客車両走行音8-3	0.6	67.8	5.0	14.0	—	54	

※ 来客車両・従業員車両走行音の騒音レベルは「ASJ Model 2018」文献値とする。

騒音発生源			基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
番号	機 器 名 称	高さ						
※	来客車両走行音9-1	0.6	67.8	4.8	13.6	-	54	50
※	来客車両走行音9-2	0.6	67.8	4.6	13.3	-	55	
※	来客車両走行音9-3	0.5	67.8	1.8	5.1	-	63	
※	来客車両走行音10-1	0.6	67.8	9.4	19.5	-	48	
※	来客車両走行音10-2	0.6	67.8	9.4	19.5	-	48	
※	来客車両走行音10-3	0.6	67.8	8.4	18.5	-	49	
※	従業員車両走行音1-1	0.6	67.8	1.8	5.1	-	63	
※	従業員車両走行音1-2	0.6	67.8	4.7	13.4	-	54	
※	従業員車両走行音1-3	0.6	67.8	7.8	17.8	-	50	
※	従業員車両走行音2-1	0.6	67.8	9.4	19.5	-	48	
※	従業員車両走行音2-2	0.6	67.8	9.4	19.5	-	48	40
※	従業員車両走行音5-1	0.6	67.8	8.2	18.3	-	50	
※	従業員車両走行音5-2	0.6	67.8	7.6	17.6	-	50	
※	従業員車両走行音5-3	0.6	67.8	6.9	16.8	-	51	

※ 来客車両・従業員車両走行音の騒音レベルは「ASJ Model 2018」文献値とする。

1.2 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための、廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠
 廃棄物等の排出量予測

廃棄物種別	S：店舗面積 (千㎡)		指 針 原単位	A： 一日当たり 廃棄物排出量 (t)	B： 平均保 管日数 (日)	C： 見かけ 比 重 (t/㎡)	D： 排出予測量 $A \times B \div C$ (㎡)
紙製廃棄物等	6千㎡以下	1.480千㎡	0.208	0.30784 t	1日	0.10	3.08㎡
金属製廃棄物等	6千㎡以下	1.480千㎡	0.007	0.01036 t	1日	0.10	0.10㎡
ガラス製廃棄物等	6千㎡以下	1.480千㎡	0.006	0.00888 t	1日	0.10	0.09㎡
プラスチック製 廃棄物等	6千㎡以下	1.480千㎡	0.020	0.02960 t	1日	0.01	2.96㎡
生ゴミ等	6千㎡以下	1.480千㎡	0.169	0.25012 t	1日	0.55	0.45㎡
その他の可燃性 廃棄物等		1.480千㎡	0.054	0.07992 t	1日	0.38	0.21㎡
合 計							6.89㎡

○廃棄物の種類ごとの排出量予測結果

廃棄物種別	D 小売業からの廃棄物等 排出量予測 (㎡)	※E 小売業以外の施設から の廃棄物等排出量予測 (㎡)	F 大規模小売店舗全体の 廃棄物保管容量予測 (D +E) (㎡)	G 大規模小売店舗に設置 される廃棄物等保管容 量 (㎡)
紙製廃棄物等	3.08㎡	0㎡	3.08㎡	6.84㎡
金属製廃棄物等	0.10㎡	0㎡	0.10㎡	
ガラス製廃棄物等	0.09㎡	0㎡	0.09㎡	
プラスチック製廃棄物等	2.96㎡	0㎡	2.96㎡	
生ゴミ等	0.45㎡	0㎡	0.45㎡	2.28㎡
その他の可燃性廃棄物等	0.21㎡	0㎡	0.21㎡	
合 計	6.89㎡	0㎡	6.89㎡	9.12㎡

※E小売業以外の施設からの廃棄物等排出量予測
 該当なし

その他指針で規定する配慮すべき事項について

1 歩行者の通行の利便の確保等について

項 目	具 体 的 な 内 容
歩行者通路確保のための対策	・来店車両が多く見込まれるオープン時や繁忙期には、出入口付近に交通整理員を配置し、横断歩行者の安全を確保する。 - 別添「資料－6. 1 動線計画図（1）（p.26）」参照 ・駐車場出入口付近には、交通事故発生の防止及び横断歩行者の安全確保のため、原則として見通しを妨げる構造物は設置しない。
夜間照明等の設置の有無	有 位置：未 定
その他	・駐車場出入口には、停止線と「止まれ」の路面表示を行うことで、帰宅車両の一旦停止を促し、横断歩行者の安全を確保する。 ・荷さばき車両の入庫時において、来店者と出入口が共用である旨を周知し、入出庫時の安全運転を徹底させる。 ・荷さばき車両を入庫させる際には、歩行者及び来店車両との場内交錯を避けるべく、従業員にて安全に誘導を行い、事故の発生防止に努める。 ・商品等の搬出入は、朝・夕の交通量の多い時間帯や来店車両の多い時間帯を極力避けた搬出入計画を立て、待機車両が発生しないよう配慮する。

2 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

予定及び概要	・商品梱包用段ボールや空き缶などは廃棄物と混在しないよう分別保管し、業者に依頼して再資源化を図る。 ・過剰包装、梱包の抑制による廃棄物の低減化を図る。
周辺住民への周知方法	・地元説明会にて周知を図る。

3 防災・防犯対策への協力について

・防災対策への協力

防災協定等締結の有無	締 結 協 定 の 内 容
有・ 無 (締結先：)	・災害時の避難場所として駐車場等敷地の一部の使用、若しくは、店舗で扱っている物資の緊急時の提供について、行政より要請があれば検討し、協力する。

・防犯対策への協力

概 要	
	・地元警察と連携し、店舗及び店舗周辺での事件発生時における警察への通報要領及び避難誘導措置など緊急通報体制を確立し、地域の防犯対策に努める。 ・駐車場内には、適切に照明設備を配置することで死角を排除し、青少年のたまり場とならないよう配慮する。 ・従業員による店内及び駐車場内の巡回や声かけ等により、青少年の蟻集を防止する。 ・店舗内における犯罪や少年非行防止の観点から、見通しを確保した商品陳列、店舗内外へ向け設置した防犯カメラなど、万引き防止等の防犯対策を講じる。

4 騒音問題への対応策について

(1) 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策の概要

項 目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の騒音対策	・荷さばき施設は、住居等が面していない場所に配置するとともに、十分な作業スペースを確保し、計画的な搬出入を行うことで作業時間の短縮に努める。 ・作業音が周辺住居等へ直接伝搬しないよう、建物敷地西側境界付近には目隠しフェンスを設置する。
荷さばき作業の騒音対策	・荷さばき作業車両のアイドリングを禁止させるなど（但し、停止することができない保冷車のアイドリングは除く）、作業員への騒音防止の意識を徹底させる。

(2) BGM等の営業宣伝活動の予定

BGM等の使用
(無)・有



使用時間帯	拡声器の数	拡声器の容量	拡声器の配置	具体的な騒音対策の内容
-	-	-	-	-

(3) 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等の規模・能力・騒音レベル等

No.	項 目		設置の有 無	規模・能力	騒音レベル (dB)	騒音対策等
	種 類	形 式				
1	室外機1	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	・低騒音化型の機器を導入する。 ・定期的に保守点検を実施し、故障等による異音の発生を防止する。
2	室外機2	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
3	室外機3	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
4	室外機4	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
5	室外機5	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
6	室外機6	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
7	室外機7	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
8	室外機8	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
9	室外機9	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
10	室外機10	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
11	室外機11	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
12	室外機12	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
13	室外機13	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
14	室外機14	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
15	室外機15	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
16	室外機16	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
17	室外機17	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
18	室外機18	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
19	室外機19	R40XEP	有	圧縮機出力1.10kW	51.8	
20	室外機20	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	・大きな騒音がでない形状を選択する。
21	室外機21	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
22	冷凍冷蔵車屋外機1	ECOV-D55WA1	有	圧縮機出力5.5kW	59.4	
23	冷凍冷蔵車屋外機2	ECOV-D45WA1	有	圧縮機出力4.5kW	58.6	
24	冷凍冷蔵車屋外機3	ECOV-D98MA1	有	圧縮機出力9.8kW	63.1	
25	冷凍冷蔵車屋外機4	ECOV-D75MA1	有	圧縮機出力7.5kW	63.1	
26	冷凍冷蔵車屋外機5	ECOV-D37WA	有	圧縮機出力3.7kW	59.2	
27	冷凍冷蔵車屋外機6	ECOV-D22WA	有	圧縮機出力2.2kW	53.7	
28	排気口1	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
29	排気口2	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
30	排気口3	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
31	排気口4	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	

No.	項 目		設置の 有 無	規模・能力	騒音レベル (dB)	騒音対策等
	種 類	形 式				
32	排気口5	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	・大きな騒音がでない形状を選択する。
33	排気口6	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
34	排気口7	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
35	排気口8	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
36	排気口9	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
37	排気口10	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
38	排気口11	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
39	排気口12	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
40	排気口13	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
41	排気口14	VD-25ZX13-FP	有	—	45.0	
42	排気口15	EFG-30SB2	有	出力0.05kW	46.9	
43	排気口16	EFG-30SB2	有	出力0.05kW	46.9	
44	キュービクル	キュービクルa	有	—	50.5	無

(4) 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

駐車場No.	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
駐車場	・自動車走行音が周辺住居等へ直接伝搬しないよう、建物敷地西側境界付近には目隠しフェンスを設置する。	・オープン時や繁忙期など混雑が見込まれる際には、交通整理員を配置して場内走行の円滑化を図り、渋滞による騒音の発生を抑制する。 ・駐車場内には徐行運転（10km/h以下）やアイドリング禁止の旨を記載した看板を設置することで、来客者に注意を呼びかける。

(5) 廃棄物収集作業にかかる騒音対策の概要

廃棄物回収場所の構造	回収時間帯	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
廃棄物等保管施設 (ブロック造)	8:00~18:00	・回収作業音が周辺住居等へ直接伝搬しないよう、建物敷地西側境界付近には目隠しフェンスを設置する。	・早朝、夜間には回収を行わない。 ・ゴミの排出量を減らし、収集時間を短縮できるよう努める。 ・業者には騒音抑制の意識を徹底させるとともに、エンジンの空ぶかしは行わないよう協力を要請する。

5 廃棄物等の運搬や処理及び廃棄物等に関連する対応策について

(1) 廃棄物等の運搬方法等

- ・廃棄物等の運搬は、適正な処理を行うべく一般廃棄物は石垣市許可業者、産業廃棄物は沖縄県許可業者と委託契約を結び、収集、運搬、処分を行います。
- ・廃棄物が大量に生じる時期については、必要に応じて業者に連絡し回収頻度を増やす。

廃棄物種別	紙製廃棄物等	金属製廃棄物等	ガラス製廃棄物等
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
予定業者等	石垣市許可業者	沖縄県許可業者	沖縄県許可業者
運搬の頻度	1回/1日	1回/1日	1回/1日

廃棄物種別	プラスチック製廃棄物	生ゴミ等	その他の可燃性廃棄物等
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
予定業者等	沖縄県許可業者	石垣市許可業者	石垣市許可業者
運搬の頻度	1回/1日	1回/1日	1回/1日

(2) 敷地内での処理計画の有無 該当なし

(3) 悪臭対策

- ・保管施設は密閉性を確保し、廃棄物等の散乱を防止することで、悪臭を抑制し、衛生上の問題を最小限にする。

(4) 食品加工場等を付設する場合の悪臭を伴う汚水処理について 該当なし

6 街並みづくりへの配慮等

(1) 街並みづくり等への配慮事項 特になし

(2) 敷地内の緑化計画

敷地面積	緑化面積	緑化の方法
4,655m ²	244m ²	・建物敷地北側及び南側に緑化率5%を確保できるよう緑化（植樹内容は未定）を行う。 別添「資料-3 平面図兼配置図（p.22）」参照

(3) 景観への配慮

- ・沖縄県景観形成条例及び沖縄県屋外広告物条例などに基ついた整備を行う。
- ・屋外広告物は、沖縄県屋外広告物条例に基づき八重山土木事務所維持管理班と協議を行い、県知事の許可を受けて設置する。
- ・景観条例の届出が必要な場合には、石垣市へ届出を行う。
- ・別添「資料-10 立面図（p.31）」参照

(4) 屋外照明・広告塔照明等の計画と光害対策

	屋 外 照 明	広 告 塔 照 明
照明灯の配置	未 定	未 定
照明灯の方向	駐車場内下向きに照射	広告塔方向上向き
照 明 の 強 さ	未 定	未 定
点 灯 時 間	日没～夜明けまで	
光 害 対 策	・周辺近隣に対して光害を発生させないよう照明の配置、方向、光源の種類には十分に配慮する。	

届出に添付する図面等について

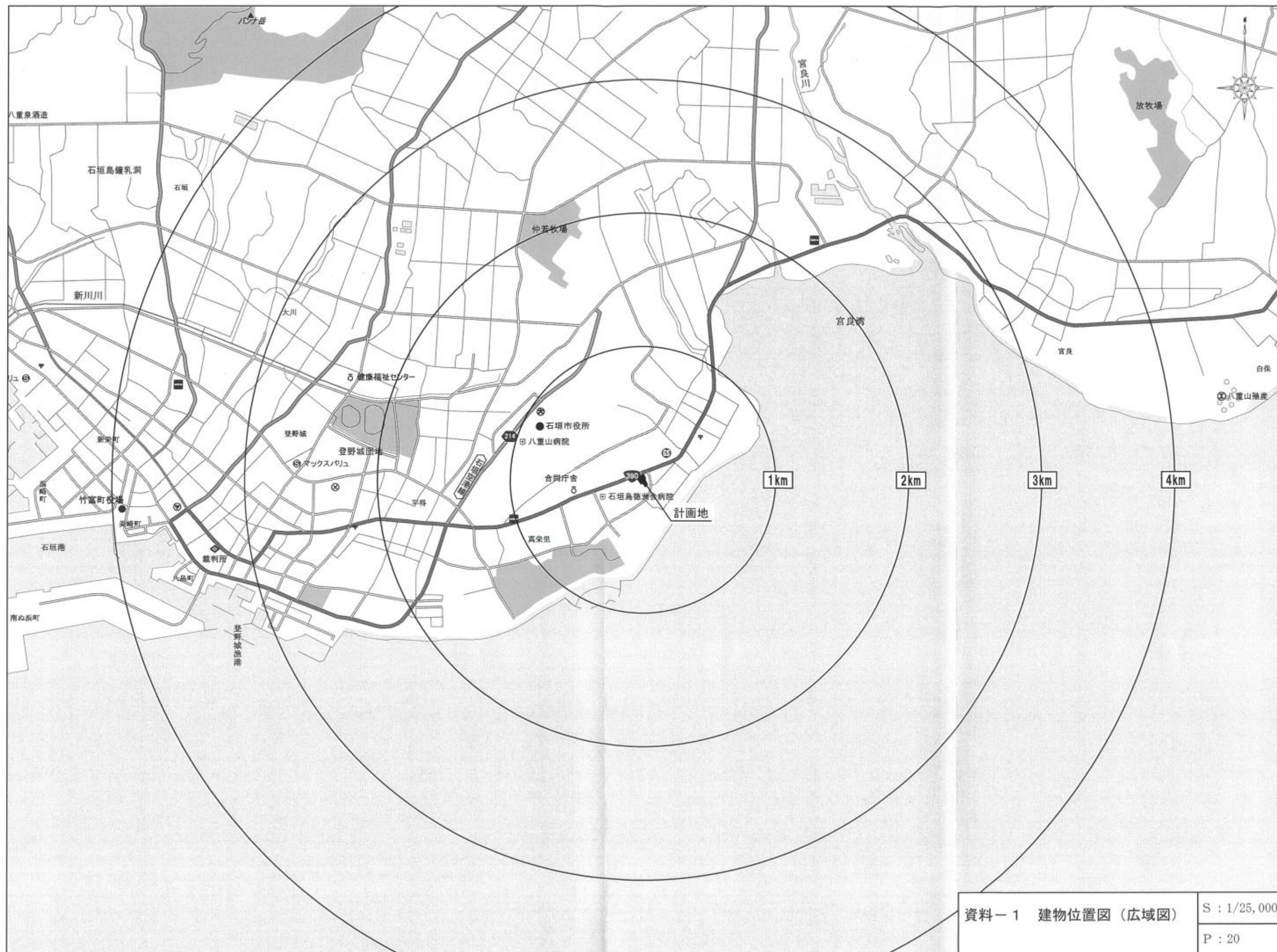
- ・資料－1 建物位置図（広域図）（p. 20）
- ・資料－2 周辺見取図（p. 21）
- ・資料－3 平面図兼配置図（p. 22）
- ・資料－4. 1 周辺道路状況図（1）（p. 23）
- ・資料－4. 2 周辺道路状況図（2）（p. 24）
- ・資料－5 案内経路図（p. 25）
- ・資料－6. 1 動線計画図（1）（p. 26）
- ・資料－6. 1 動線計画図（2）（p. 27）
- ・資料－7 騒音発生源位置図（p. 28）
- ・資料－8 騒音予測地点位置図（p. 29）
- ・資料－9 用途地域図（p. 30）
- ・資料－10 立面図（p. 31）

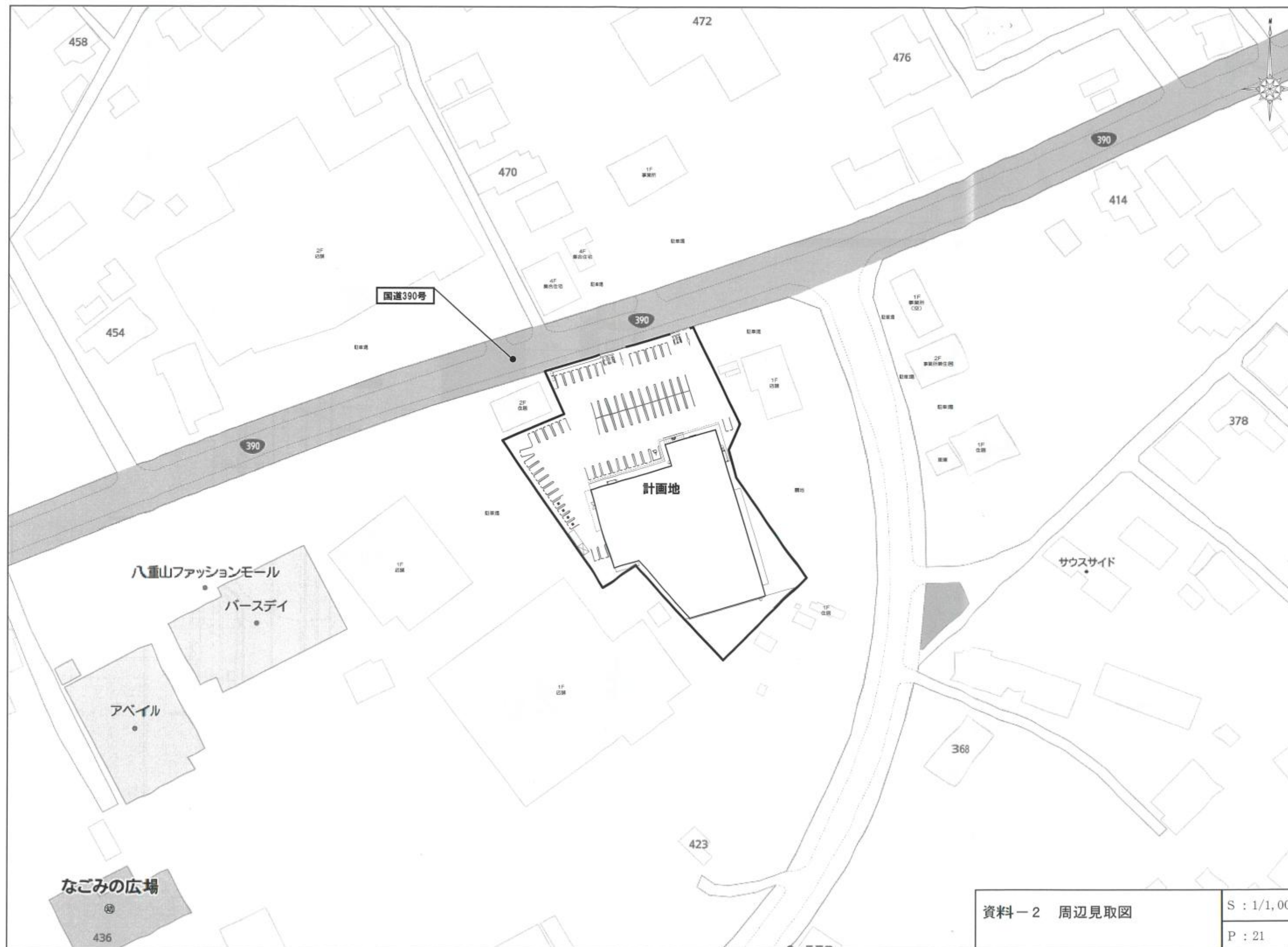
登記簿謄本

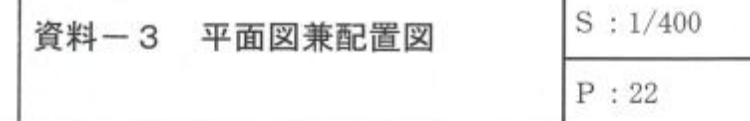
- ・株式会社ドラッグストアモリ

別冊資料

- ・（仮称）ドラッグストアモリ石垣大浜店 交通処理計画報告書
- ・（仮称）ドラッグストアモリ石垣大浜店 騒音予測評価報告書

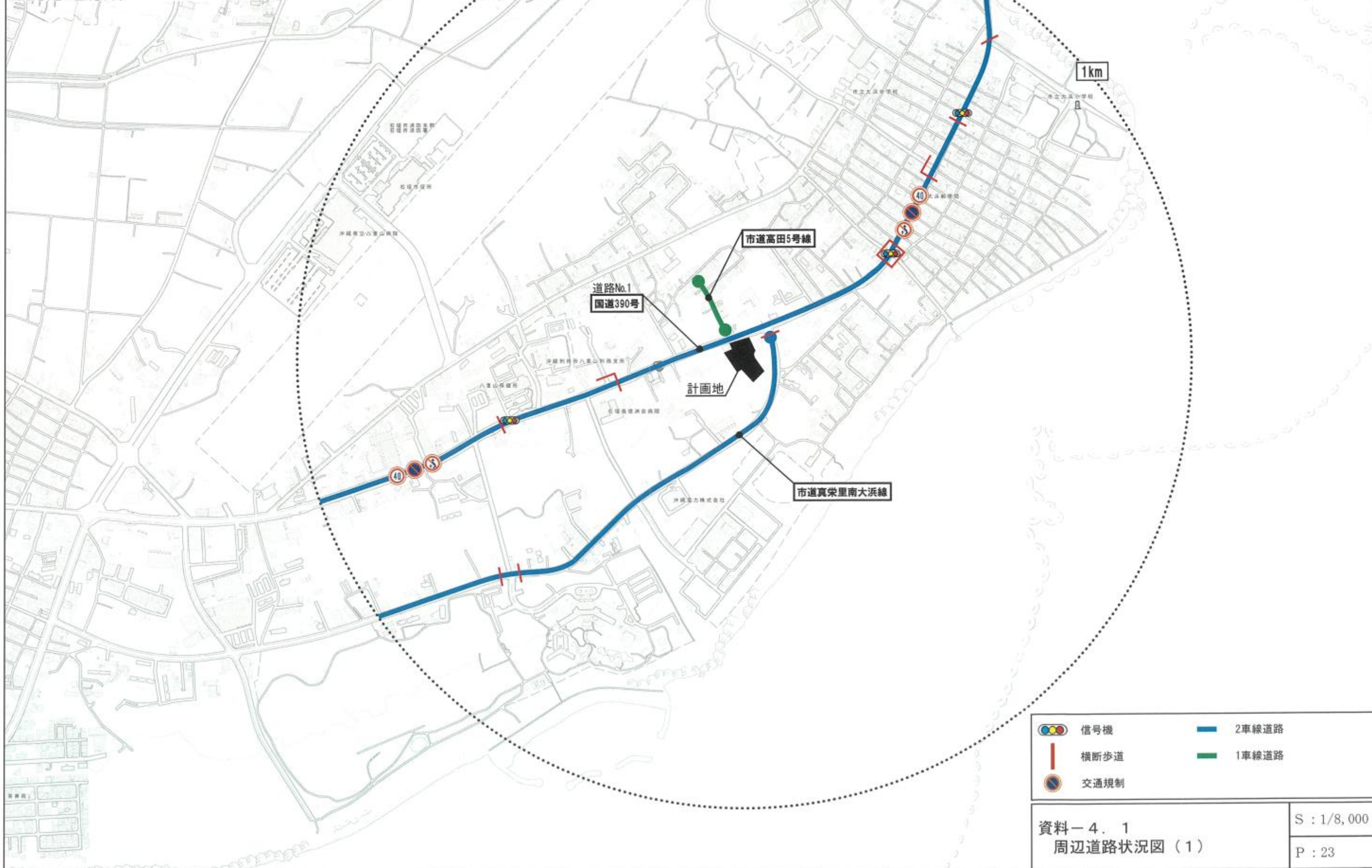






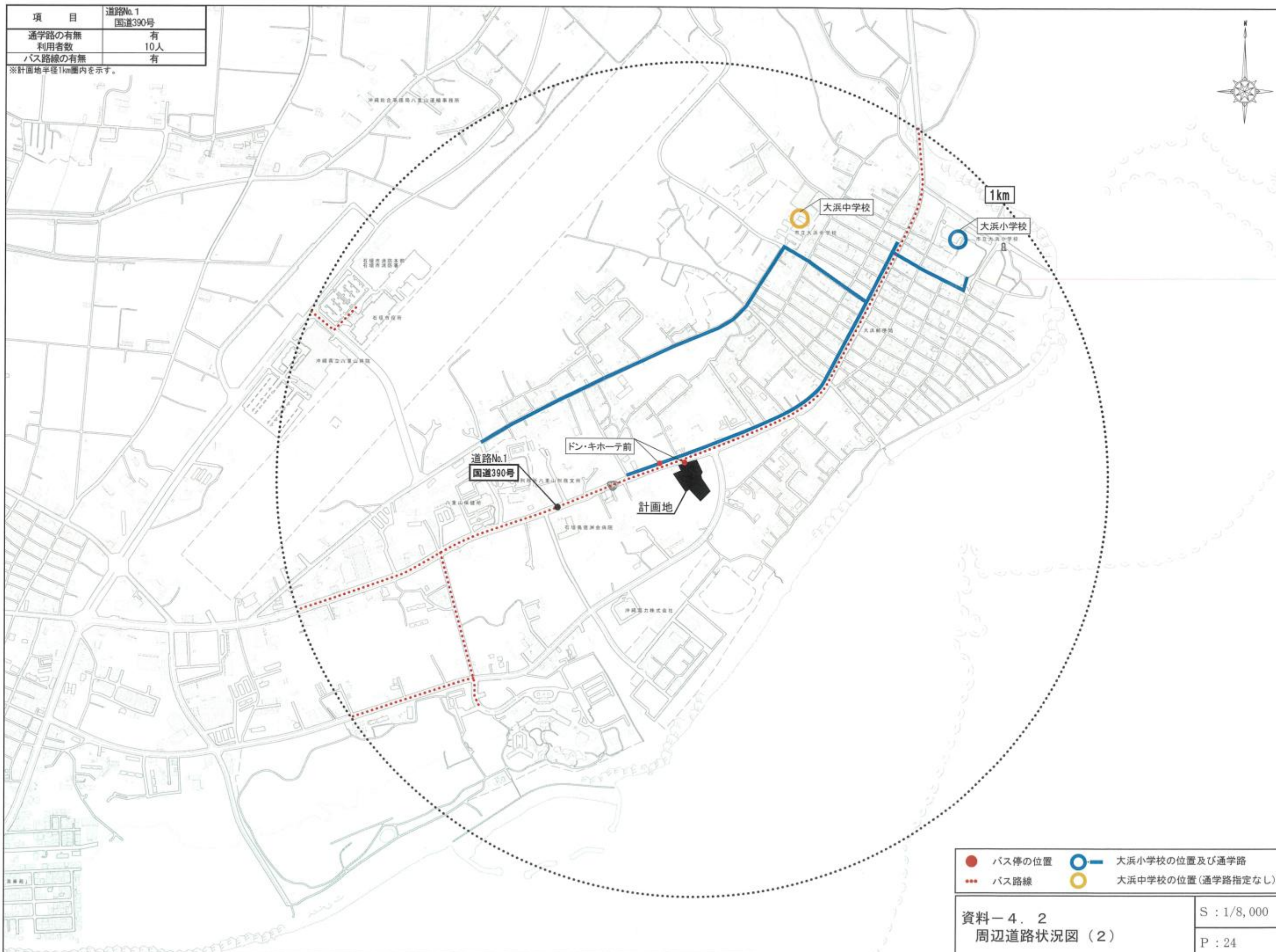
項 目	道路No.1 国道390号
道路幅員 (車線数)	14.1m (2車線)
歩道の有無・幅員	有 3.0m 3.0m
交通規制	制限速度40km/h 駐車禁止 はみ出し禁止
信号交差点数 (うち右折帯設置の交差点数)	3交差点 (0交差点)
横断歩道等の状況	有

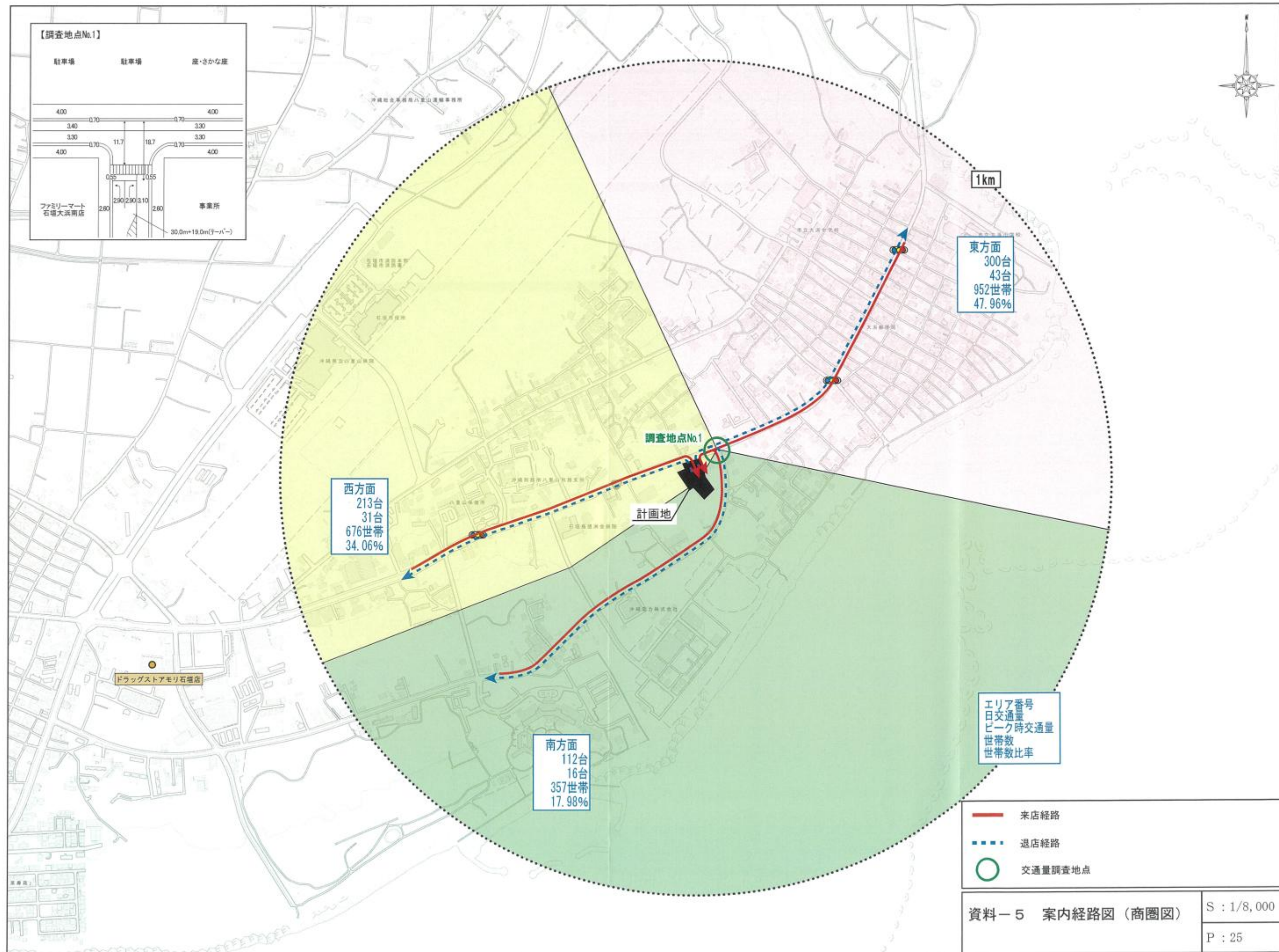
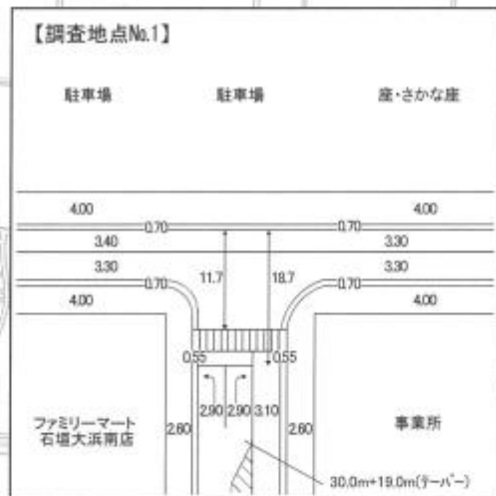
※計画地半径1km圏内を示す。

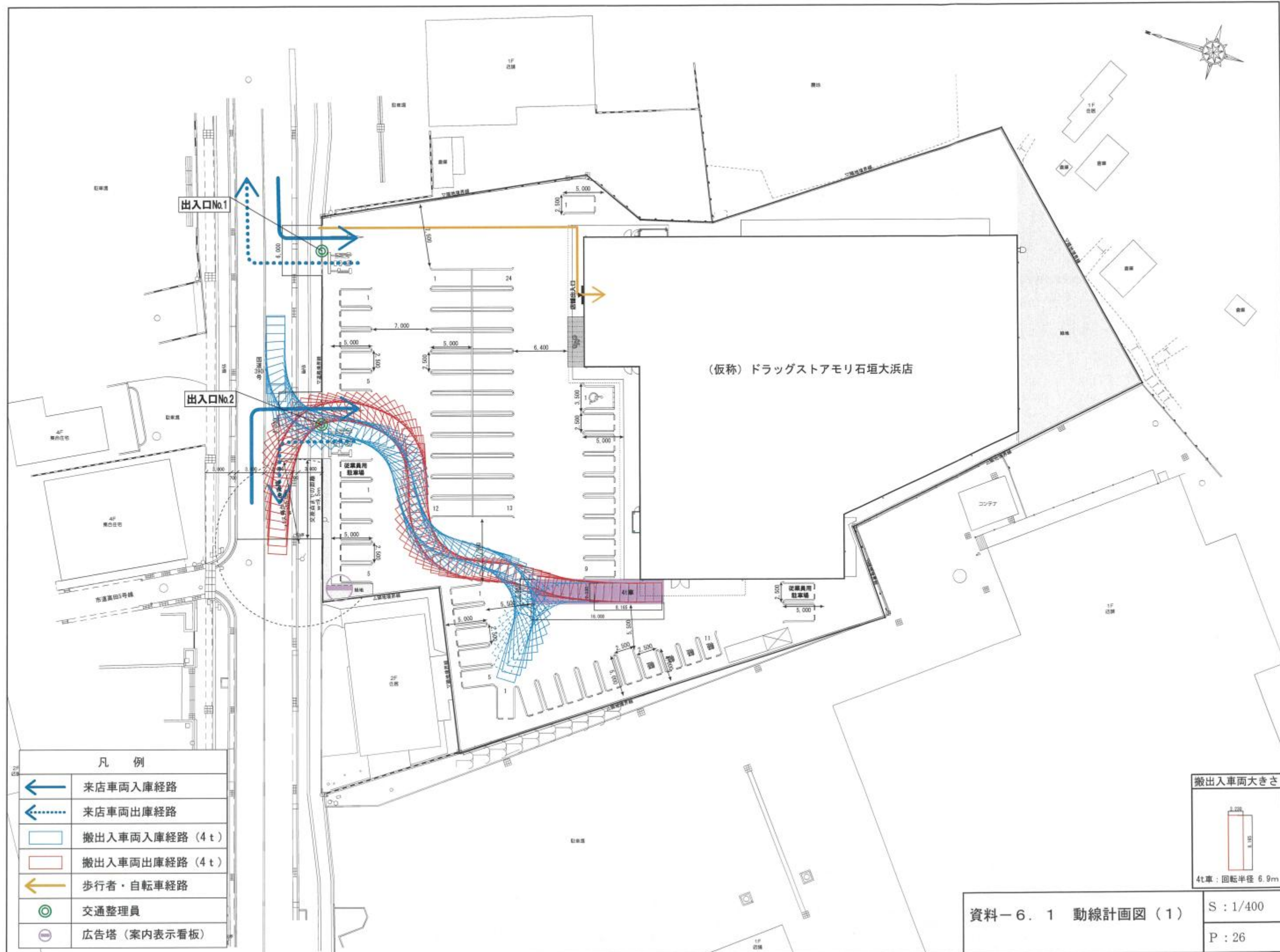


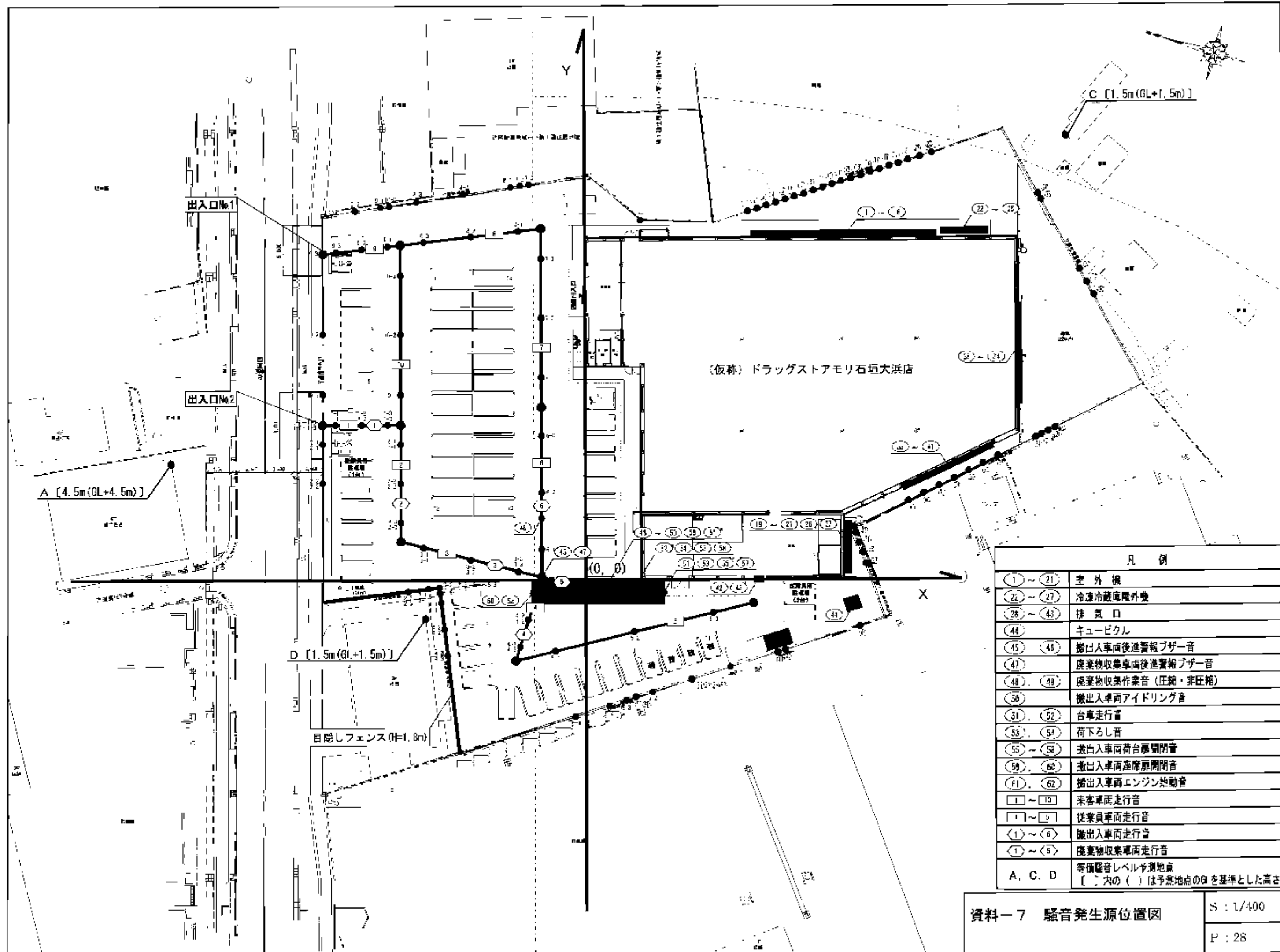
項 目	道路No.1 国道390号
通学路の有無	有
利用者数	10人
バス路線の有無	有

※計画地半径1km圏内を示す。









第1種住居地域	
地域の種類	B類型
規制区域	第2種

近隣商業地域	
地域の種類	C類型
規制区域	第3種

第1種住居地域	
地域の種類	B類型
規制区域	第2種

第2種住居地域	
地域の種類	B類型
規制区域	第2種

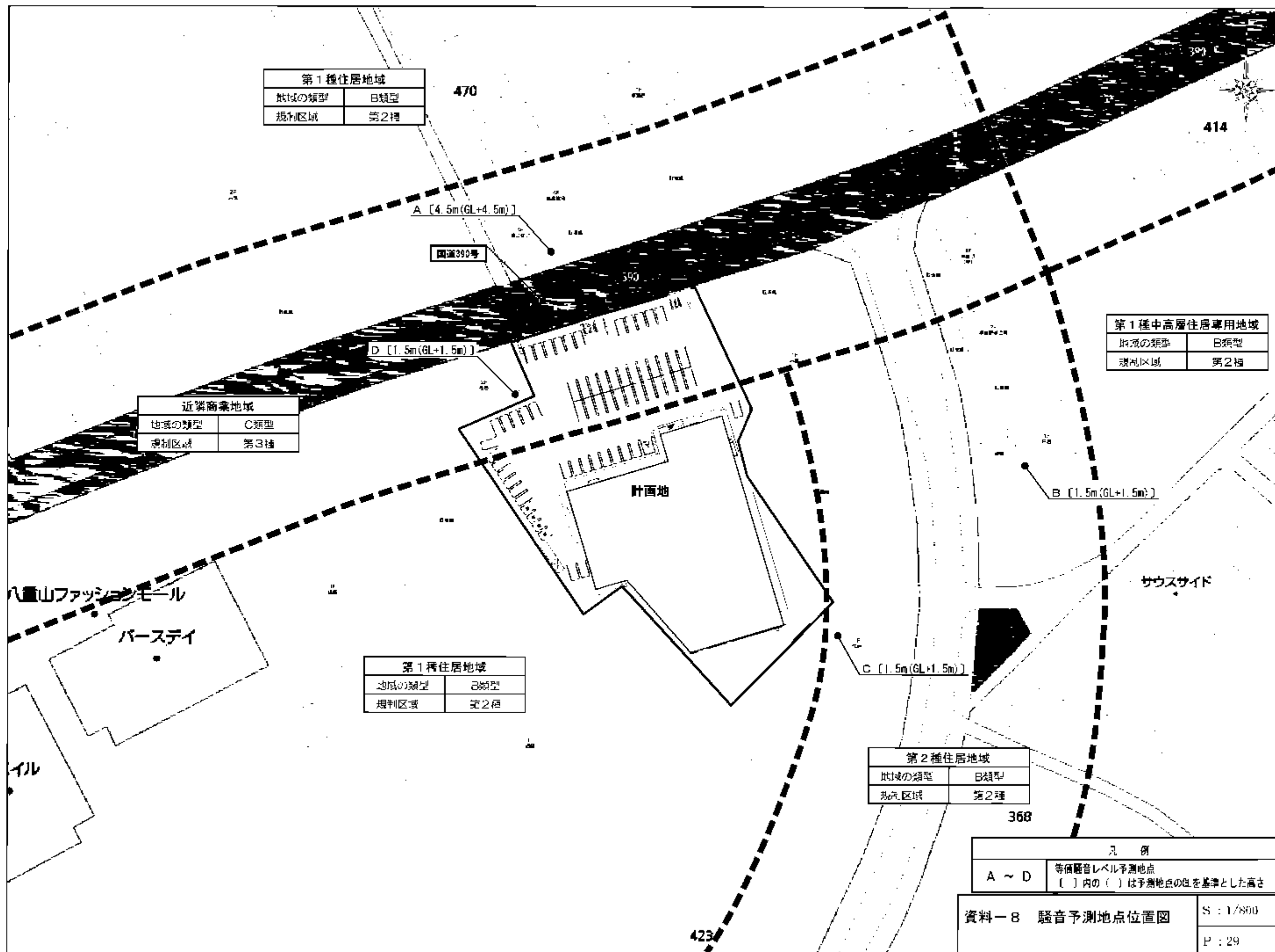
第1種中高層住居専用地域	
地域の種類	B類型
規制区域	第2種

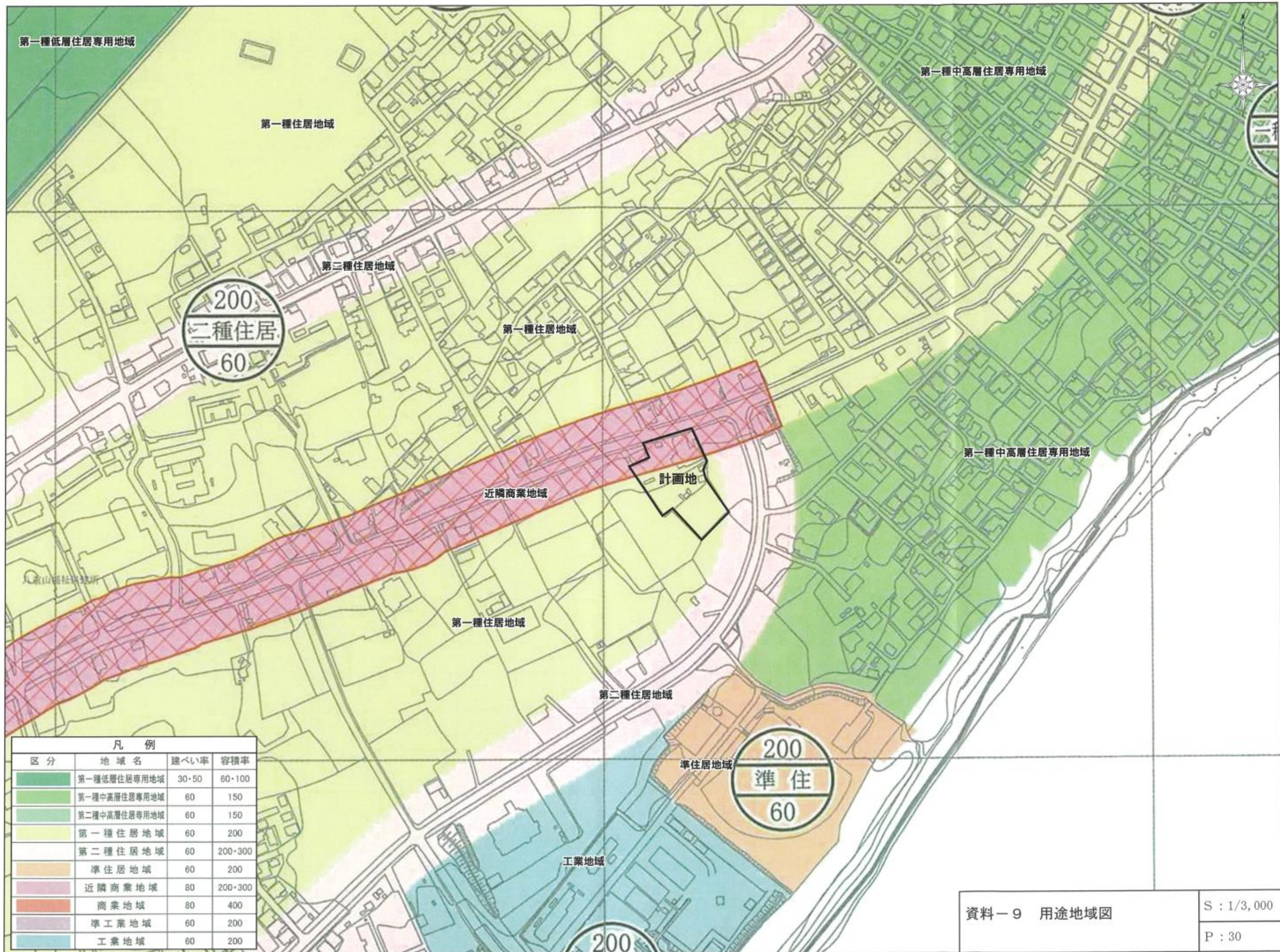
凡 例	
A ~ D	等価騒音レベル予測地点 〔 〕内の（ ）は予測地点の位を基準とした高さ

資料-8 騒音予測地点位置図

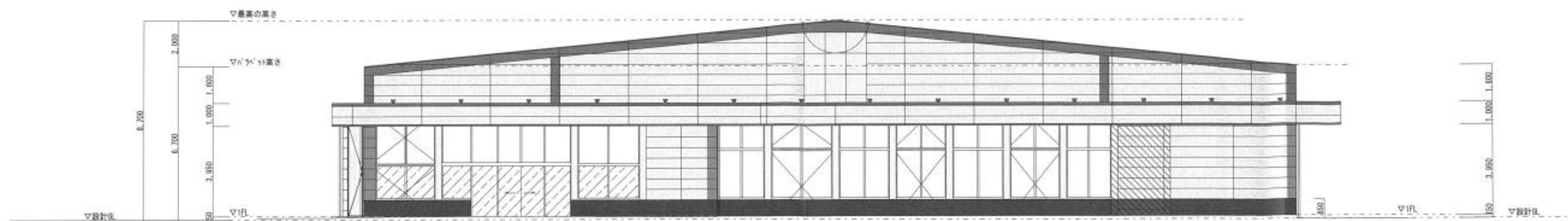
S : 1/800

P : 29

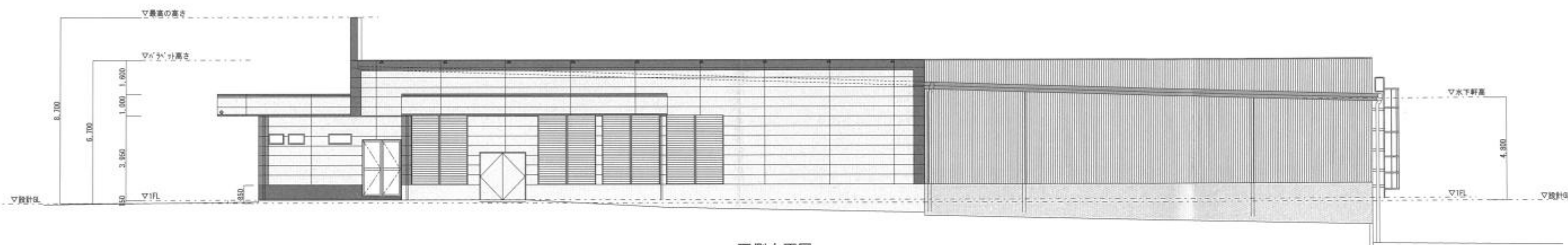




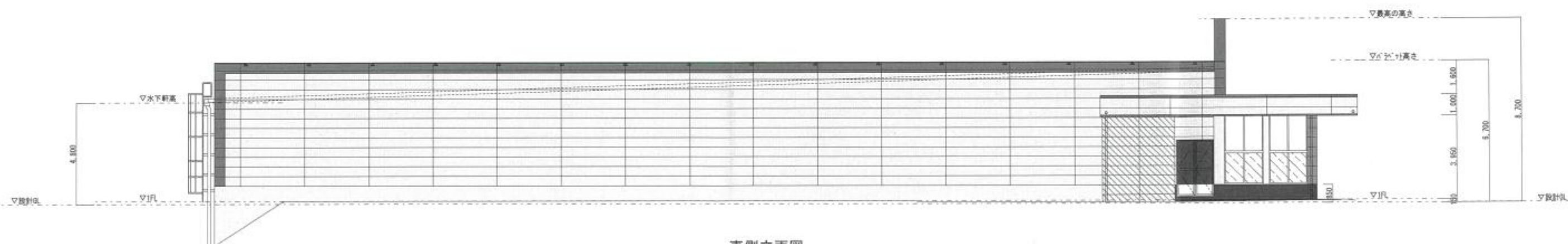
凡 例			
区 分	地 域 名	建ぺい率	容積率
	第一種低層住居専用地域	30・50	60・100
	第一種中高層住居専用地域	60	150
	第二種中高層住居専用地域	60	150
	第一種住居地域	60	200
	第二種住居地域	60	200・300
	準住居地域	60	200
	近隣商業地域	80	200・300
	商業地域	80	400
	準工業地域	60	200
	工業地域	60	200



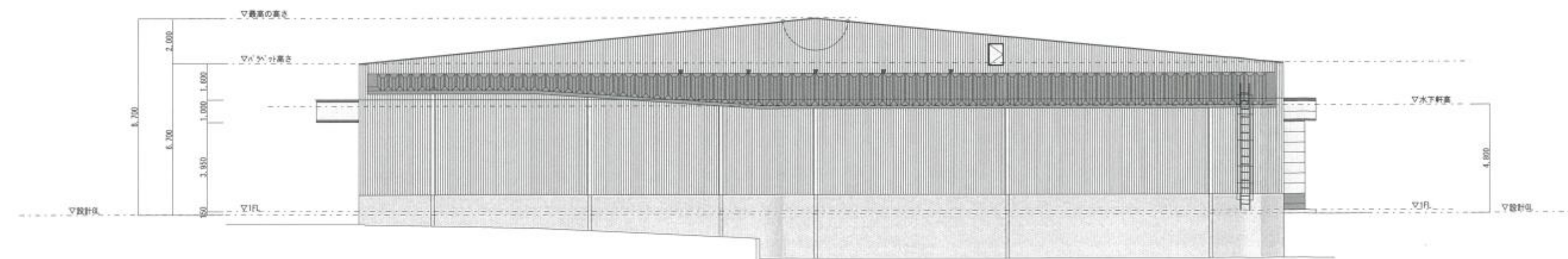
北側立面図



西側立面図



東側立面図



南側立面図

現在事項全部証明書

福岡県朝倉市一木1148番地の1
株式会社ドラッグストアモリ

会社法人等番号	2900-01-044133	
商 号	<u>ナチュラル株式会社</u>	
	株式会社ドラッグストアモリ	平成25年 8月29日変更
		平成25年 8月29日登記
本 店	<u>福岡県甘木市大字一ツ木1148番地の1</u>	
	福岡県朝倉市一木1148番地の1	平成18年 3月20日変更
		平成18年 3月22日修正
公告をする方法	当会社の公告は官報に掲載してする	
会社成立の年月日	昭和63年3月7日	
目 的	当会社は、次の事業を営む会社及びこれに相当する事業を営む会社の株式を所有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理することを目的とする。 (1) 薬局の経営、保険調剤業務、処方箋による医薬品の調剤及び販売 (2) ドラッグストアの経営 (3) 医薬品・医薬部外品・毒劇物・化粧品・医療器具・管理医療機器・家庭用健康機器・高度管理医療機器・福祉用具・介護用品・衛生用品・日用雑貨の製造、加工、仕入、卸売及び販売 (4) 生鮮食料品・加工食料品・特定保健用食品・機能性表示食品・冷凍食料品・乳製品・食料油脂・調味料・茶・コーヒー・ココア・飲料水・氷その他飲食物品の製造、加工、仕入、卸売及び販売 (5) 塩・煙草の卸売及び販売 (6) 酒類の卸売及び販売 (7) 衣料品・寝具の卸売及び販売 (8) 時計・眼鏡・貴金属・宝石の卸売及び販売 (9) 家庭用電気製品・家具調度品・屋内装飾品・照明器具の卸売及び販売 (10) 紙類・文房具類・事務用機械器具の卸売及び販売 (11) 書籍・雑誌・新聞等の印刷物及び電子出版物の企画、開発、製作、輸出入、販売及び賃貸 (12) ビデオ・CD・DVD等の音響、映像、ゲームソフトの輸出入及び販売並びにレンタル (13) イベントの企画・製作及び主催 (14) インターネット等のネットワークを利用した情報提供サービス業及び商取引並びに情報処理サービス業 (15) コンピュータソフトウェア及びコンピュータハードウェアの研究開発及び販売 (16) 特許権・著作権・著作隣接権・意匠権・商標権・工業所有権等の知的	

	所有権の取得及びその管理運用並びにコンサルタント、市場調査、宣伝業 (17) 損害保険代理業・自動車損害賠償保障法に基づく損害保険代理業及び生命保険募集、その他保険媒介代理業、保険サービス業 (18) 不動産の管理、賃貸、売買、仲介並びに経営コンサルティング (19) 建築工事業並びに建造物の内装仕上工事の企画、設計、監理、請負、コンサルティング (20) 金銭の貸付、債務の保証、債権の売買等の金融業 (21) 株式、社債等有価証券の取得、保有、売却、投資、管理及び運用 (22) 一般及び特定労働者派遣事業 (23) 経営コンサルタント・各種マーケティングリサーチ業務及び経営に関する講演、執筆 (24) フランチャイズチェーンシステムによるドラッグストアの経営、コンサルティング業とそれに伴う卸売業 (25) 自動販売機による酒、タバコ、飲料水の販売 (26) 配置薬販売業 (27) 美容・理容業 (28) 旅行代理業 (29) 通信販売業 (30) 飲食店経営 (31) 農薬・肥料の卸売及び販売 (32) 動物用医薬品の卸売及び販売 (33) 古物販売業 (34) 介護保険法に基づく訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業 (35) 介護保険法に基づく訪問入浴介護事業及び介護予防訪問入浴介護事業 (36) 介護保険法に基づく訪問看護事業及び介護予防訪問看護事業 (37) 介護保険法に基づく通所介護事業及び介護予防通所介護事業 (38) 介護保険法に基づく短期入所生活介護事業及び介護予防短期入所生活介護事業 (39) 介護保険法に基づく特定施設入居者生活介護事業及び介護予防特定施設入居者生活介護事業 (40) 介護保険法に基づく福祉用具貸与事業及び介護予防福祉用具貸与事業 (41) 介護保険法に基づく特定福祉用具販売事業及び特定介護予防福祉用具販売事業 (42) 介護保険法に基づく居宅介護支援事業 (43) 老人福祉法に基づく有料老人ホームの運営 (44) 高齢者の居住の安定確保に関する法律に基づくサービス付き高齢者向け住宅の運営 (45) 介護保険法に基づく地域支援事業 (46) 発電事業及びその管理・運営並びに売電に関する事業 (47) 保育事業 (48) 前各号に付帯関連する一切の事業 2. 当社は、前項各号の事業及び前各号に付帯関連する一切の事業を営むことができる。 平成29年11月 6日変更 平成29年12月26日登記
発行可能株式総数	16万株 平成20年 5月18日変更 平成20年 5月19日登記

発行済株式の総数 並びに種類及び数	発行済株式の総数 12万株	平成20年 5月18日変更
		平成20年 5月19日登記
資本金の額	金3000万円	
株式の譲渡制限に関する規定	当会社の株式を譲渡するには取締役会の承認を受けなければならない。	
役員に関する事項	取締役 森 信	令和 6年 6月21日重任 令和 6年10月11日登記
	取締役 森 か つ 子	令和 6年 6月21日重任 令和 6年10月11日登記
	取締役 森 竜 馬	令和 6年 6月21日重任 令和 6年10月11日登記
	取締役 田 籠 久 史	令和 6年 6月21日重任 令和 6年10月11日登記
	取締役 梅 野 政 輝	令和 6年 6月21日重任 令和 6年10月11日登記
	取締役 田 中 康 之	令和 6年 6月21日重任 令和 6年10月11日登記
	福岡県久留米市田主丸町常盤29番地3 代表取締役 森 信	令和 6年 6月21日重任 令和 6年10月11日登記
	福岡県久留米市田主丸町常盤29番地3 代表取締役 森 竜 馬	令和 6年 6月21日重任 令和 6年10月11日登記
	監査役 元 木 功	令和 4年 6月24日重任 令和 4年 8月 2日登記
	会計監査人 監査法人篠原パートナーズ	令和 7年 9月25日就任 令和 7年11月 6日登記

福岡県朝倉市一木1148番地の1
株式会社ドラッグストアモリ

取締役会設置会社 に関する事項	取締役会設置会社	平成17年法律第87号第1 36条の規定により平成18 年 5月 9日登記
監査役設置会社 に関する事項	監査役設置会社	平成17年法律第87号第1 36条の規定により平成18 年 5月 9日登記
会計監査人設置会 社に関する事項	会計監査人設置会社	平成22年 6月30日設定 平成22年 7月23日登記



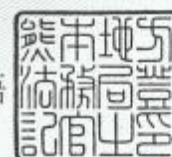
これは登記簿に記録されている現に効力を有する事項の全部であることを証明
した書面である。

(福岡法務局管轄)

令和 7年12月10日

熊本地方法務局
登記官

上 村 謙 悟



別添資料－1

(仮称) ドラッグストアモリ石垣大浜店
交通処理計画報告書

— 目 次 —

第1章 交通状況調査	1
1. 道路構造調査	1
2. 交通流量調査	1
第2章 発生交通量の推計	3
1. 指針に基づいた来店交通量の推計	3
2. 来店交通量の方向比	3
第3章 現状交通実態の解析	5
第4章 経路の設定	7
1. 概 要	7
2. 考 察	8
第5章 開店後の交通実態の解析	11
1. 概 要	11
2. 主要道路・主要交差点の検証	11
3. 右折入出庫の検証	13
第6章 現況及び開店後の交通容量解析結果	17
第7章 現況交通調査結果	22

第1章 交通状況調査

1 道路構造調査

(仮称)ドラッグストアモリ石垣大浜店(以下、計画店舗という。)出店予定地周辺における主要交差点の形状および主要道路の構造調査を行った。

2 交通流量調査

計画店舗の開店に伴い、多くの来店帰宅需要交通流量が集中すると考えられる主要交差点の交通流量調査を平日及び休日の両日で行った。

(i) 調査日時

主要交差点

平日	令和 7 年 10 月 20 日 (月)	7:00~20:00	13 時間計測
休日	令和 7 年 10 月 19 日 (日)	7:00~20:00	13 時間計測

(ii) 調査地点

調査地点を次頁の「図-1. 調査交差点位置図」に示す。

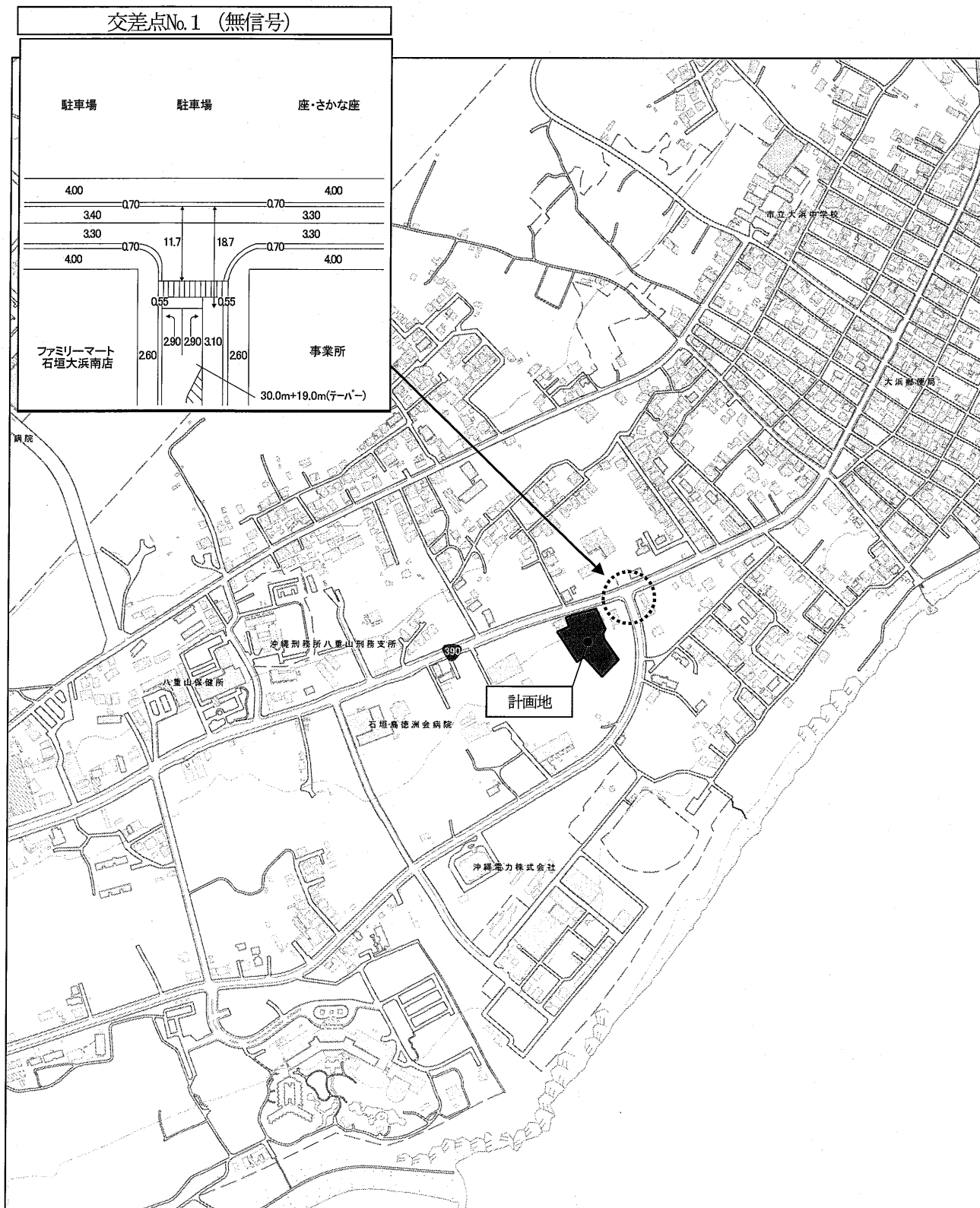
・交差点No.1

(iii) 調査方法

調査交差点の各流入路に対して、方向別及び車種別交通量を1時間単位に計測した。

方向別	→ 左折・直進・右折
車種別	→ 二輪車・普通車・大型車

同時に、調査交差点の流入路における各横断路に対して、横断歩行者及び自転車通行量を1時間単位に計測した。



図－１．調査交差点位置図